

この事業によって、全耕地の六十七%にあたる、六七〇ヘクタールの面積が整備されました。

農村総合整備モデル事業 村では、緑と

太陽につつまれた、豊かで明るく、楽しい村で、「人々が住みたくなるような村づくり」を目ざして、昭和四十八年より、昭和五十五年までの間に、国や県の援助を受け、農村総合整備モデル事業を行いました。

その中で、おもな仕事として、

- ① 水道の整備
- ② 生活のための排水の施設

この事業で実施した内容

区分	事業種類	実施した事業量	事業に要した額 千円
生産基盤	農道整備	9路線 5,013m	170,600
	農業用排水施設整備	3路線 1,850m	20,500
環境基盤	営農飲雑用水施設整備	全村対象 11集落	580,700
	農業集落道整備	14路線 4,985m	168,345
	農業集落排水施設整備	1路線 250m	1,945
	用地整備	1ヶ所 44,000㎡	60,400
	防災安全施設整備	2ヶ所 429m	13,910
環境施設	農村環境改善センター整備	1棟(786㎡) テニスコート・プール・運動広場	241,148
	農村公園施設整備	10ヶ所	45,452
計			1,303,000